

J R 東海労働組合関西地「申」第6号
2 0 1 8 年 9 月 1 1 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 松 寄 道 洋 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 畑 野 浩 孝

「仕業検査担当者の勤務指定」に関する申し入れ

大阪仕業検査車両所では、仕業検査と申告作業があり、仕業検査担当者として「ヤ1・ヤ2・ヤ3・ヤ4」と「テ2・テ3」もしくは「ヤ7・ヤ8」と勤務表で指定されている。

「ヤ1・ヤ2」は1班としてまだ申告作業の経験がなく、仕業検査のみの担当である。また、「ヤ3・ヤ4」は2班として、「テ2（ヤ7）・テ3（ヤ8）」は3班として仕業検査も申告作業も両方経験があり、仕業班長の指示により、班ごとに申告作業をすることもあったが、この間、申告作業の経験がない社員が2班、3班に勤務指定されることはなかった。

しかし、8月に申告作業の経験がない社員が2班（ヤ3・ヤ4）に勤務指定され仕事に従事していた。この勤務指定は、この間の会社の説明や作業運用が事実と異なっている。

よって、下記の通り申し入れますので、早急な労使協議をお願いします。

記

1. 申告作業の経験がない社員を2班（ヤ3・ヤ4）に勤務指定した理由を明らかにすること。
2. 今後も、このような勤務指定があるのか明らかにすること。
3. 本年7月までの「ヤ1からヤ8」及び「テ1からテ3」における仕業検査並びに申告作業に対する社員指定に関する会社の基準を明らかにすること。
4. 本年8月以降の「ヤ1からヤ8及び」及び「テ1からテ3」における仕業検査並びに申告作業に対する社員指定に関する会社の基準を明らかにすること。
5. 今後は1班（ヤ1・ヤ2）、2班（ヤ3・ヤ4）を以前のように仕業検査専属に戻すのか明らかにすること。

以上